



2011年6月15日

報道関係各位

株式会社ニコン・エシロール

眼への負担を増大させる「青い光」を効果的にカットし快適な視界を実現 新開発レンズコーティング「ニコン シークリア ブルー」を発売

『ニコン』と『バリラックス』の2大メガネレンズブランド製造・販売を行う、国内大手のメガネレンズメーカー、株式会社ニコン・エシロール（本社：東京都墨田区、代表取締役社長兼 CEO：セルジュ・ザンス）は、眼への負担を増大させる「青い光」を約10%カットするレンズコーティング「ニコン シークリア ブルー」を新たに開発し、6月1日より順次発売いたします。

今回当社が新たに開発したレンズコーティング「シークリア ブルー」は、デジタル機器に囲まれた現代生活において、眼への負担を増大させる要因の一つといわれる「青い光」を効果的にカットする高機能コーティングです。薄膜を多層に重ねた反射防止膜に「青い光」だけを反射させる特性を付加したことで、透明なレンズでありながら眩しさや、視界のチラつきを防ぐ効果をレンズに持たせることが可能になりました。

開発背景

IT技術の進歩とともに、私たちの生活には、液晶モニターを搭載したパソコンや携帯電話（スマートフォン含む）、携帯ゲームおよびテレビ等、様々なデジタル機器が浸透しています。これらのモニター画面からは赤・緑・青といったさまざまな光が出ていますが、より画像を鮮明に表示させるために、特に「青い光」が強く発せられており、デジタル機器での使用が眼への負担を増大させる要因のひとつとなっています。

厚生労働省が2008年に発表した「技術革新と労働に関する実態調査結果」によると、仕事でのVDT（Visual Display Terminal）作業（パソコンを用いた作業）で、身体的な疲労や症状を感じている労働者の割合は68.6%で、そのうち、身体的疲労や症状の内容別（複数回答）をみると、「目の疲れ・痛み」が90.8%と最も多く、次いで「首、肩のこり・痛み」が74.8%、「腰の疲れ・痛み」が26.9%となっています。

※調査結果厚生労働省のHPを参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/saigai/anzen/08/02.html#1>

こうした身体的症状が進行すると、苛立ちや焦燥感、不眠症などの精神神経症状などを引き起こす「VDT 症候群（パソコン病）」や「テクノストレス」につながると考えられています。

株式会社ニコン・エシロール

本社 130-0026 東京都墨田区両国 2-10-8(住友不動産両国ビル)
TEL(03)5600-3511 FAX(03)5600-3525



このような状況を踏まえ、「見る」ということにこだわり、常に最先端の技術を切り拓いてきたニコンでは、日本の光学機器メーカーの先駆者として、快適な視界と、日常生活における眼への負担を少しでも減らすための技術研究に取り組み、新たなレンズコーティング「ニコン シークリア ブルー」を開発しました。

1. 製品名

ニコン シークリア ブルー（略号：BLU）

2. 発売日

6月1日（水）より順次発売

3. 価格

オープン価格

4. 製品特長

① 眼への負担を増大させる「青い光」を約 10%カット

可視光線の中でも、エネルギーが強く散乱しやすい、短波長（380-500nm 近辺）の「青い光」を約 10%反射し、眼への侵入を効果的にカットします。

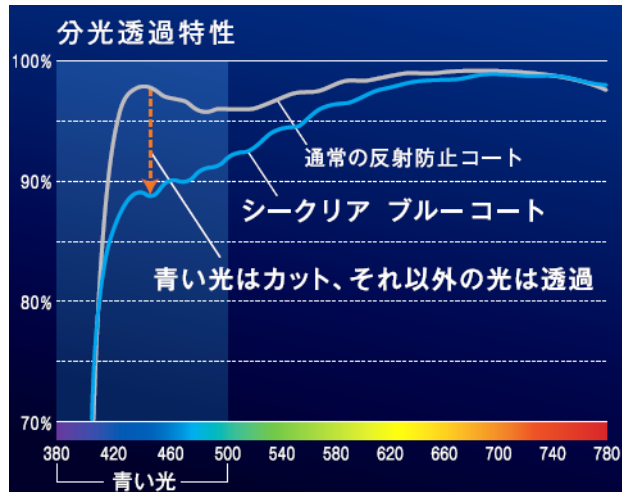


株式会社 **ニコン・エシロール**

本 社 130-0026 東京都墨田区両国 2-10-8(住友不動産両国ビル)
TEL(03)5600-3511 FAX(03)5600-3525

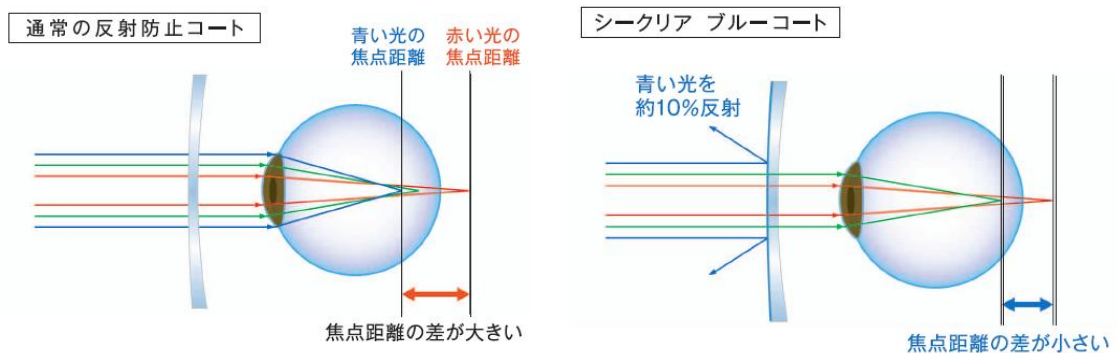
② 視感透過率は97.5%を維持

「青い光」は効果的にカットし、それ以外の光は、光の反射や映り込みを防止する通常の反射防止膜コートレンズと同程度透過させ明るい視界を維持します。視感透過率は97.5%を実現しています。



【データは全てニコン・エシロールの計測データです】

③ 焦点距離の差が小さくなることでコントラストが上がり、見え心地が向上
網膜の手前に焦点を結ぶ「青い光」をカットすることで焦点距離の差が小さくなるため、コントラストが上がり、文字や輪郭などがよりはっきりと見えます。



＜報道関係の問い合わせ先＞

株式会社ニコン・エシロールマーケティング部
 担当：松田、大森 TEL：03-5600-1375
 もしくは
 広報代行 株式会社ブラップジャパン
 担当：加藤、藤沢 TEL：03-3486-6839

株式会社ニコン・エシロール

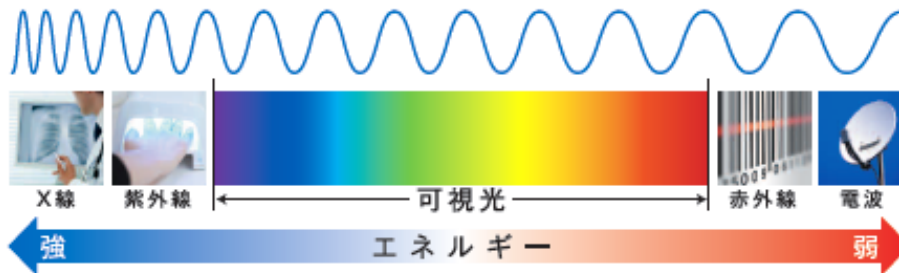
本社 130-0026 東京都墨田区両国 2-10-8(住友不動産両国ビル)
 TEL(03)5600-3511 FAX(03)5600-3525

参考資料

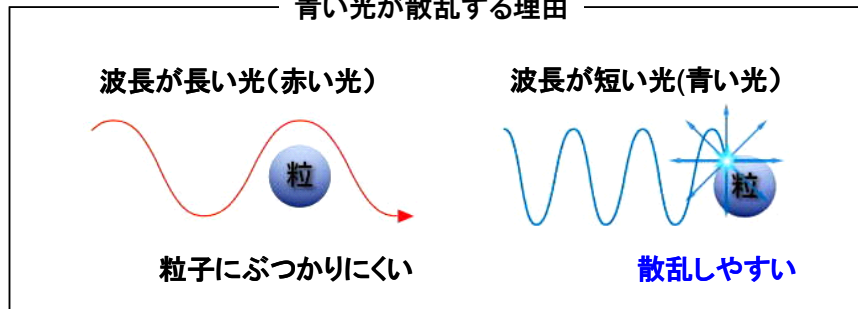
「青い光」が眼に与える影響

「青い光」は可視光線の中ではエネルギーが一番強く、波長が短い光です。

「青い光」のような短波長の光は、散乱しやすく、眩しさやチラツキの原因になります。



青い光が散乱する理由



「青い光」(短波長の光)は、「赤い光」(長波長の光)の約4.4倍散乱

身の回りに溢れる青い光

技術革新やデジタル放送への移行により、近年、テレビやパソコンのモニター画面はブラウン管から液晶に入れ替わり、さらに、スマートフォンや携帯ゲーム機などのデジタル機器が浸透しています。これらの液晶画面は、より鮮明に表示できるようにLEDバックパネルの「青い光」を強く発光させています。つまり、デジタルライフには眼への負担が懸念される「青い光」が多く存在し、日常的にさらされているといえます。

